

## ■調査の目的

- ◆義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の結果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◆学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ■調査の概要

- ◆調査実施日：平成30年4月17日（火）
- ◆調査の対象学年：①小学校第6学年 ②中学校第3学年
- ◆調査を実施した児童・生徒数：①小学校：1,030,025人（交野市：10校 698人）  
②中学校：967,188人（交野市：4校 688人）

| 主として「知識」に関する問題（A）                                                                                                                       | 主として「活用」に関する問題（B）                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など</li> </ul> |

※理科はA・Bの区分なし

- ◆調査内容：(1)教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童・生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- 学校に対する調査（指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。序列化や過度な競争につながらないように十分配慮します。

※交野市全体の児童・生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。



## 【平成30年度 全国学力・学習状況調査 交野市】

## 【結果概要①】

平成30年4月17日実施

## 【平均正答率】

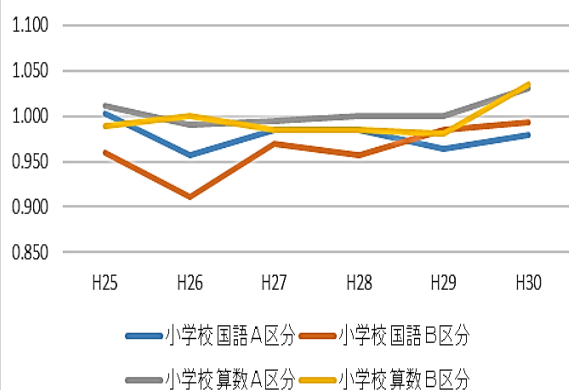
## 【平成25年度～平成30年度 区分別正答率】

| 小学校 | 交野市  | 大阪府  | 全国   |
|-----|------|------|------|
| 国語A | 69.2 | 68.1 | 70.7 |
| 国語B | 54.3 | 52.2 | 54.7 |
| 算数A | 65.5 | 63.4 | 63.5 |
| 算数B | 53.3 | 50.6 | 51.5 |
| 理科  | 59.1 | 57.4 | 60.3 |

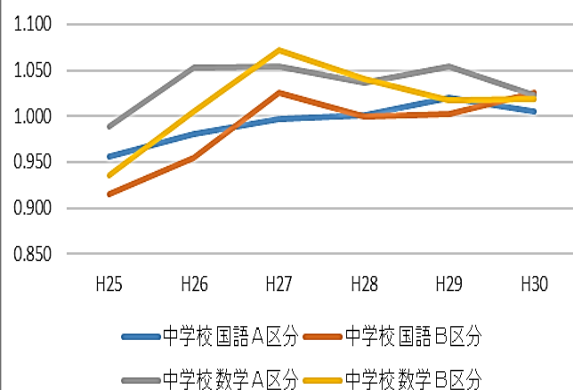
| 中学校 | 交野市  | 大阪府  | 全国   |
|-----|------|------|------|
| 国語A | 76.5 | 74.7 | 76.1 |
| 国語B | 62.8 | 59.4 | 61.2 |
| 数学A | 67.6 | 65.2 | 66.1 |
| 数学B | 47.8 | 45.7 | 46.9 |
| 理科  | 66.7 | 64.0 | 66.1 |

|     |    |     | 平成25年度 |      |            | 平成26年度 |      |            | 平成27年度 |      |            | 平成28年度 |      |            | 平成29年度 |      |            | ★平成30年度 |      |            |
|-----|----|-----|--------|------|------------|--------|------|------------|--------|------|------------|--------|------|------------|--------|------|------------|---------|------|------------|
|     |    |     | 交野市    | 全国   | 交野市<br>-全国 | 交野市    | 全国   | 交野市<br>-全国 | 交野市    | 全国   | 交野市<br>-全国 | 交野市    | 全国   | 交野市<br>-全国 | 交野市    | 全国   | 交野市<br>-全国 | 交野市     | 全国   | 交野市<br>-全国 |
| 小学校 | 国語 | A区分 | 62.9   | 62.7 | 0.2        | 69.8   | 72.9 | -3.1       | 68.9   | 70.0 | -1.1       | 71.7   | 72.9 | -1.2       | 72.1   | 74.8 | -2.7       | 69.2    | 70.7 | -1.5       |
|     |    | B区分 | 47.4   | 49.4 | -2.0       | 50.6   | 55.5 | -4.9       | 63.4   | 65.4 | -2.0       | 55.3   | 57.8 | -2.5       | 56.6   | 57.5 | -0.9       | 54.3    | 54.7 | -0.4       |
|     | 算数 | A区分 | 78.1   | 77.2 | 0.9        | 77.4   | 78.1 | -0.7       | 74.8   | 75.2 | -0.4       | 77.6   | 77.6 | 0.0        | 78.6   | 78.6 | 0.0        | 65.5    | 63.5 | 2.0        |
|     |    | B区分 | 57.8   | 58.4 | -0.6       | 58.2   | 58.2 | 0.0        | 44.3   | 45.0 | -0.7       | 46.5   | 47.2 | -0.7       | 45.0   | 45.9 | -0.9       | 53.3    | 51.5 | 1.8        |
|     | 理科 |     | —      | —    | —          | —      | —    | —          | 57.7   | 60.8 | -3.1       | —      | —    | —          | —      | —    | —          | 59.1    | 60.3 | -1.2       |
|     |    |     |        |      |            |        |      |            |        |      |            |        |      |            |        |      |            |         |      |            |
| 中学校 | 国語 | A区分 | 74.9   | 76.4 | -1.5       | 79.0   | 79.4 | -0.4       | 75.6   | 75.8 | -0.2       | 75.7   | 75.6 | 0.1        | 79.0   | 77.4 | 1.6        | 76.5    | 76.1 | 0.4        |
|     |    | B区分 | 64.3   | 67.4 | -3.1       | 50.9   | 51.0 | -0.1       | 67.5   | 65.8 | 1.7        | 66.5   | 66.5 | 0.0        | 72.4   | 72.2 | 0.2        | 62.8    | 61.2 | 1.6        |
|     | 数学 | A区分 | 67.1   | 63.7 | 3.4        | 70.5   | 67.4 | 3.1        | 67.9   | 64.4 | 3.5        | 64.5   | 62.2 | 2.3        | 68.1   | 64.6 | 3.5        | 67.6    | 66.1 | 1.5        |
|     |    | B区分 | 41.7   | 41.5 | 0.2        | 60.8   | 59.8 | 1.0        | 44.6   | 41.6 | 3.0        | 45.9   | 44.1 | 1.8        | 48.9   | 48.1 | 0.8        | 47.8    | 46.9 | 0.9        |
|     | 理科 |     | —      | —    | —          | —      | —    | —          | 54.9   | 53.0 | 1.9        | —      | —    | —          | —      | —    | —          | 66.7    | 66.1 | 0.6        |
|     |    |     |        |      |            |        |      |            |        |      |            |        |      |            |        |      |            |         |      |            |

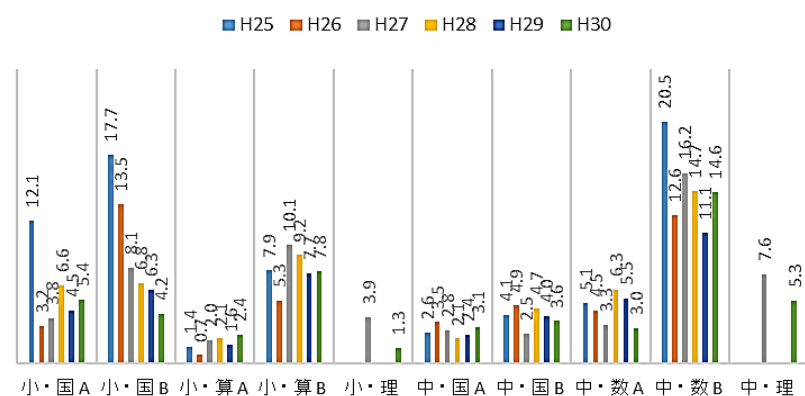
【小】正答率対全国平均比経年比較



【中】正答率対全国平均比経年比較

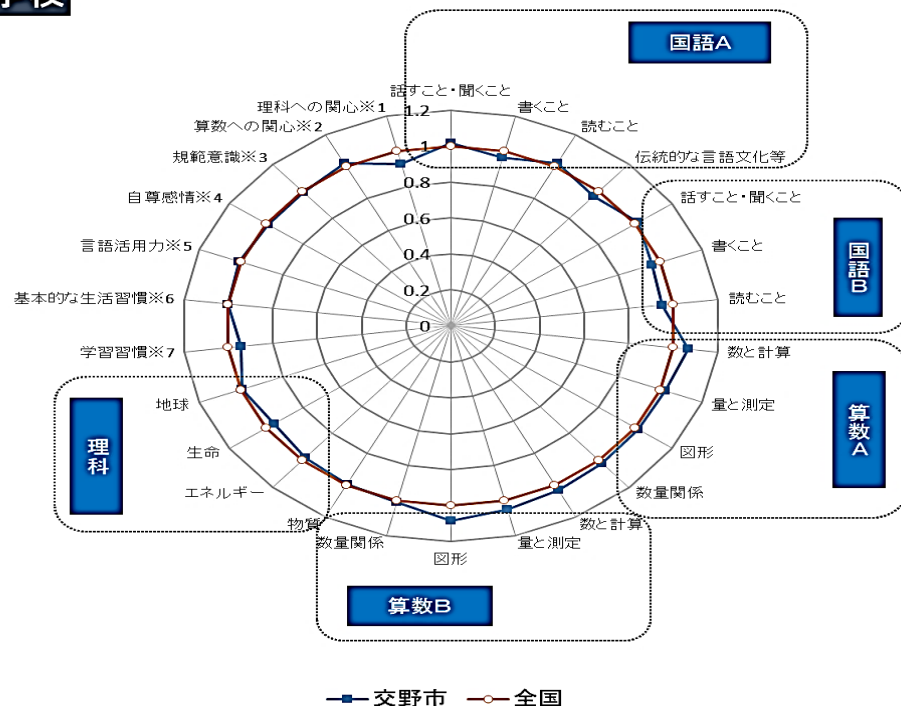


無解答率の推移

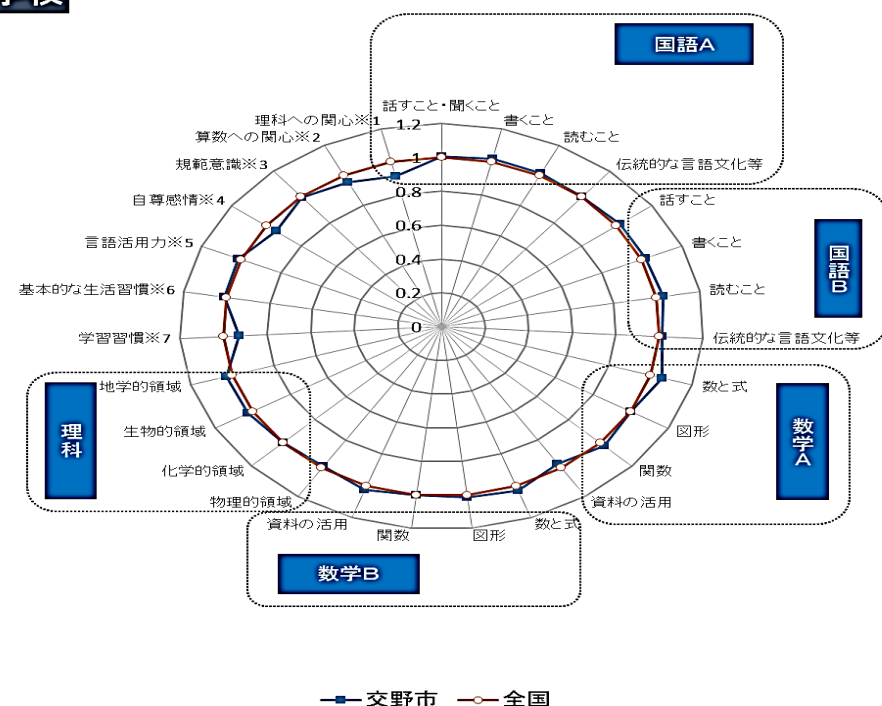


# 【教科に関する調査及び生活習慣や学習規律等に関する調査より】

## 小学校



## 中学校



全国平均を1とした場合の比較

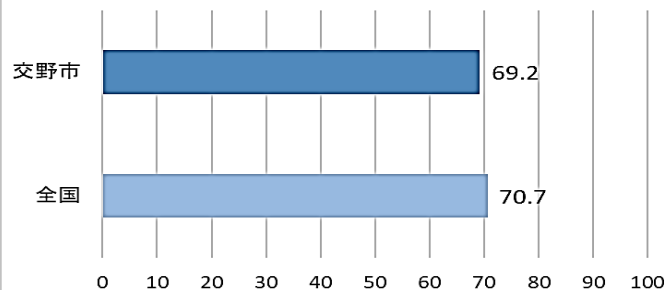
### 【児童・生徒質問紙より】

- ※1「理科の勉強は好きだ」「理科の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※2「算数・数学の勉強は好きだ」「算数・数学の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※3「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※4「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※5「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※6「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた児童・生徒の割合
- ※7「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「30分より少ない」「全くしない」以外と答えた児童・生徒の割合

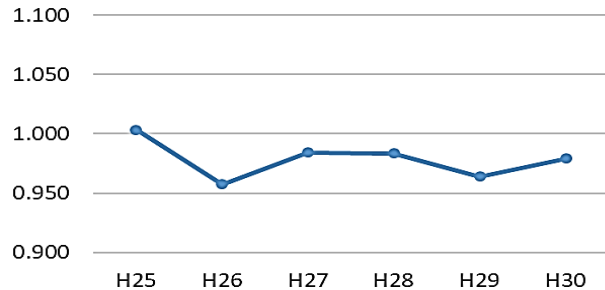
# 【小学校国語 A区分】

【主に「知識」に関する問題】

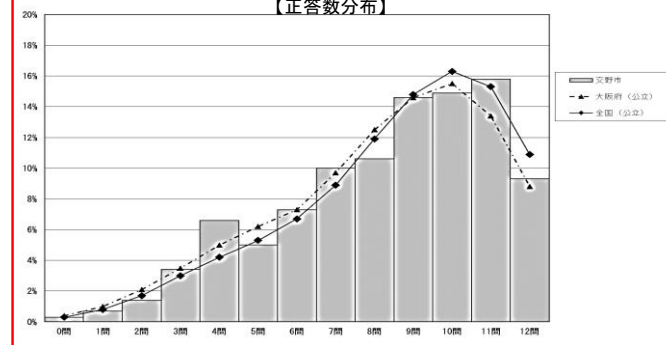
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

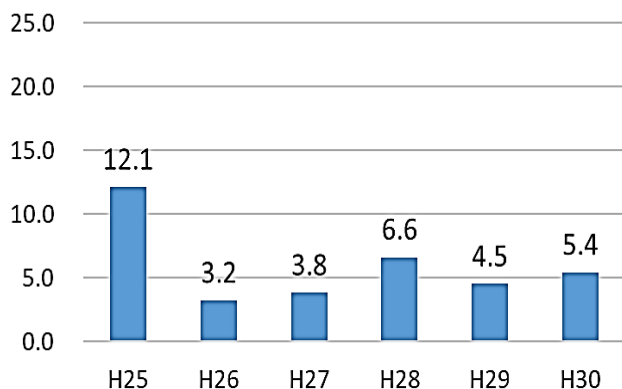


【正答数分布】

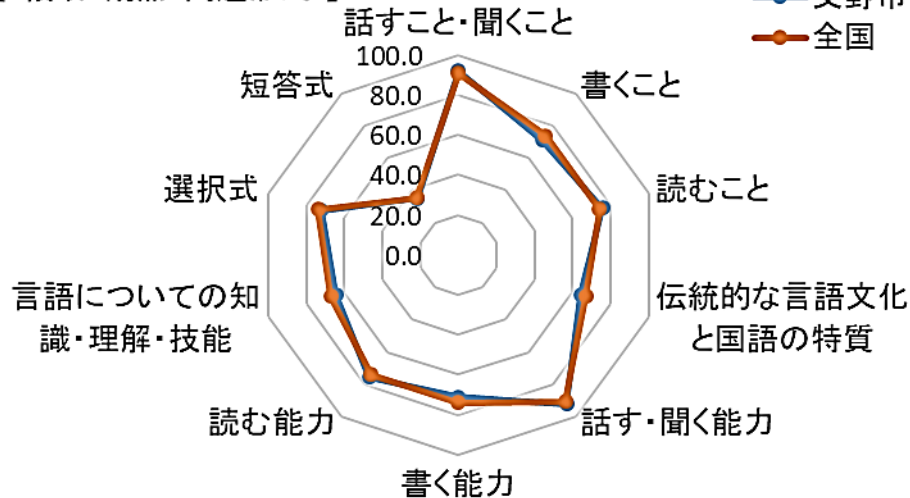


- 平均正答率は全国値を1.5ポイント下回ったものの、対全国比は昨年度値を上回っている。
- 正答数分布の様子は、全国値を上回り、11問を頂点とした右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にある。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」「話す・聞く能力」「読む能力」については、全国値を上回っている。

# 【小学校国語 A区分】 ■課題の見られる問題■

## 【問題8】 文の中で漢字を使う

### ■出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

### ■正答率・無解答率

|   |      |       |            |
|---|------|-------|------------|
| ア | 正答率  | 69.2% | (全国：73.4%) |
|   | 無解答率 | 8.5%  | (全国：5.2%)  |
| イ | 正答率  | 79.4% | (全国：82.2%) |
|   | 無解答率 | 9.9%  | (全国：6.3%)  |
| ウ | 正答率  | 78.8% | (全国：82.2%) |
|   | 無解答率 | 11.5% | (全国：6.6%)  |
| エ | 正答率  | 62.0% | (全国：65.0%) |
|   | 無解答率 | 12.0% | (全国：7.4%)  |
| オ | 正答率  | 46.6% | (全国：51.4%) |
|   | 無解答率 | 13.0% | (全国：7.7%)  |

### ■（問題箇所のみ抜粋）

- ・ア せい造に必要な い せつ備がある。
- ・調理器具を う しょう毒する。
- ・品質を え かん理している。
- ・おかしを お せつ極的に開発している。

○上記下線部と同じ漢字を選びましょう。

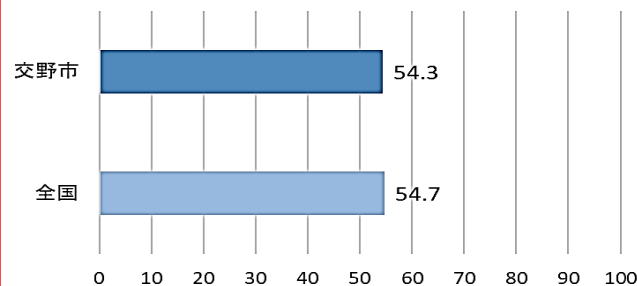
- ア 1 せい 限時間に気をつける。  
2 せい い 品の 価格 を調べる。  
3 道具箱の中を せい 理する。
- イ 1 新しい規則 をもうける。  
2 劇の やく の希望を聞く。  
3 遠くへ ボール をなげる。
- ウ 1 細かい説明を は ぶく。  
2 ノート の 文字 を け す。  
3 運動会で 赤組 が かつ 。
- エ 1 かん 成した作品を先生に見せる。  
2 近くの警察 かん に道をたずねる。  
3 ピーカー と試験 かん を水で洗う。
- オ 1 三角形 の 面 せき を求める。  
2 大会でよい 成 せき を残す。  
3 せき 任の重い仕事をする。



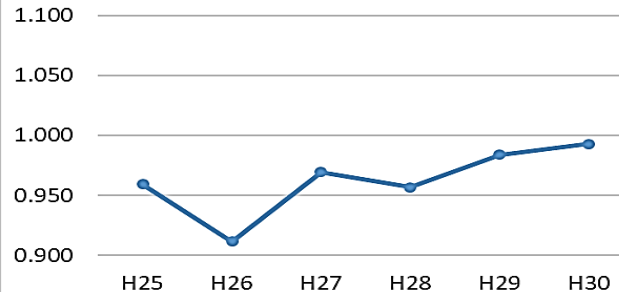
# 【小学校国語 B区分】

【主に「活用」に関する問題】

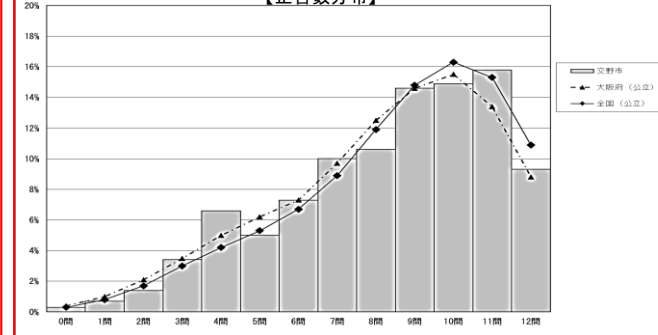
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

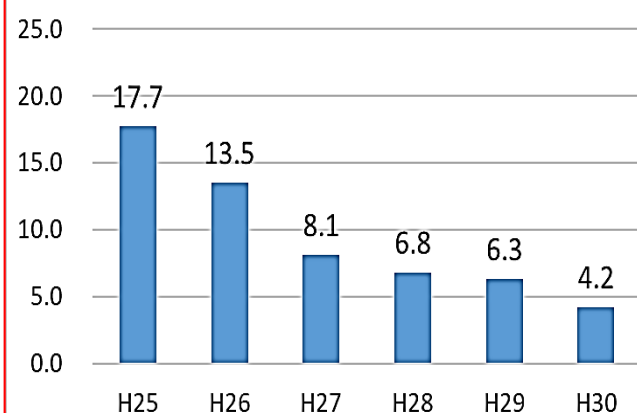


【正答数分布】

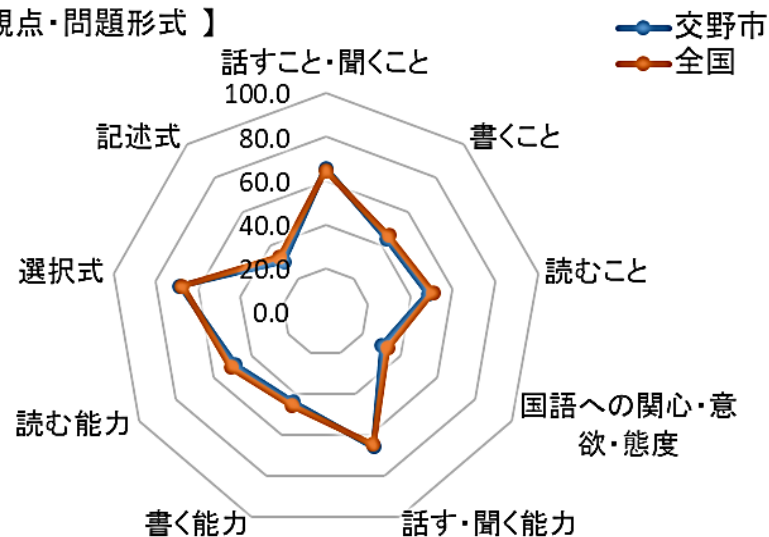


- 平均正答率は全国を0.4ポイント下回ったものの、対全国比は昨年度値を上回っている。
- 正答数分布の様子は全国状況とおおむね同傾向で、全国は10問、交野市は11問を頂点とした右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国とおおむね同傾向にある。
- 「話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」「選択式」で全国値を上回っている。

## 【小学校国語 B区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題3二】

【伝記「湯川秀樹」の一部を読んで、【ノートの一部】C最も心がひかれた一文と、その理由の文章の□に入る内容を書く。

## ■出題の趣旨

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうかをみる。

## ■正答率・無解答率

正答率 45.3%  
(全国：52.3%)  
無解答率 13.9%  
(全国：11.9%)

最も心がひかれた一文とその理由

「自分の力で、  
やれるところまで  
やってみよう。」

この言葉は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけた後、と留学の話を断ったときの湯川博士の言葉である。湯川博士はおさないうちから、積み木に熱中したり、書道にしようとしていた。また、

これらのことから、「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」という一文は、ねばり強く物事に取り組み湯川博士のことをよく表していると思った。

わたしは、勉強やスポーツに取り組んでいるとき、どちらうであきらめてしまうことがある。これからは湯川博士のように、ねばり強く最後までやりとげようようにしていきたい。

## ■正答の条件

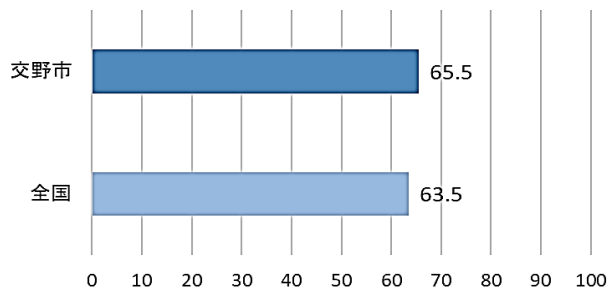
○なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」という一文に心がひかれたのかを考えて書くこと。

○【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

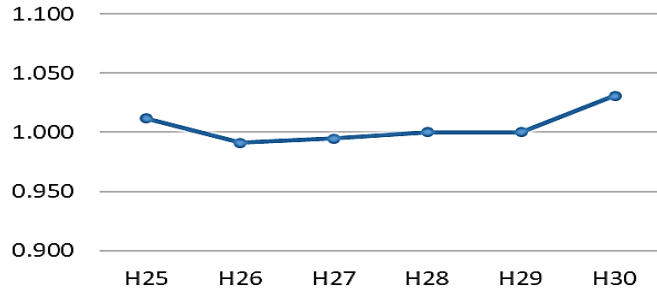
○書き出しの言葉に続けて、六十字以上、百字以内にもとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数に含む。

# 【小学校算数 A区分】 【主に「知識」に関する問題】

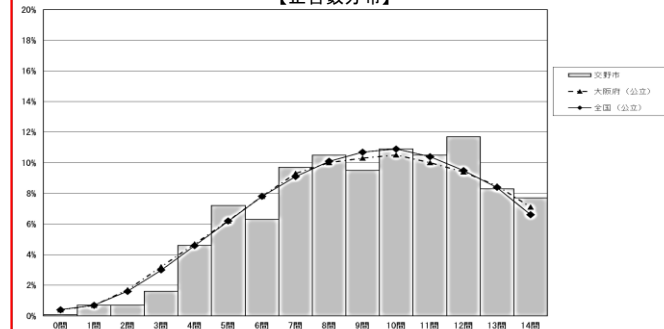
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

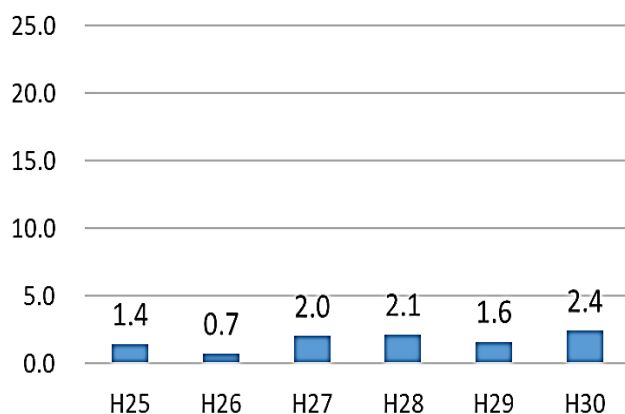


【正答数分布】

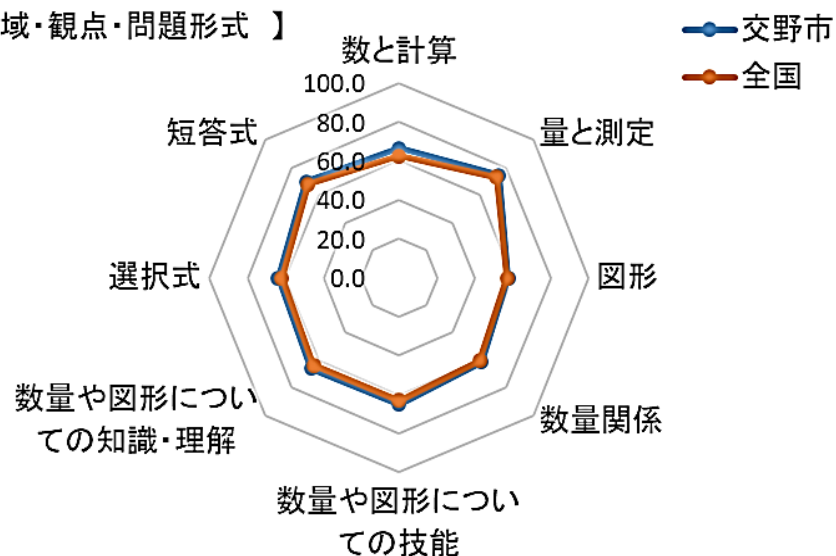


- 平均正答率は全国値を2ポイント上回っている。対全国比も昨年度値を大きく上回った。
- 正答数分布の様子は全国状況より分散傾向にあり、12問を頂点とした右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にあり、すべてにおいて全国値を上回っている。



## 【小学校算数 A区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題8】

200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ。

## ■出題の趣旨

百分率を求めることができる。

## ■正答率・無解答率

正答率 50.9%（全国：52.9%）

無解答率 5.4%（全国： 4.6%）

○ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4 %

2 2.5 %

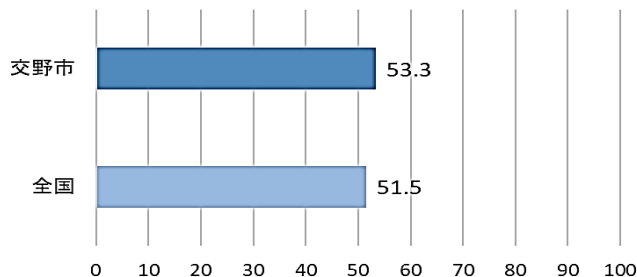
3 40 %

4 80 %

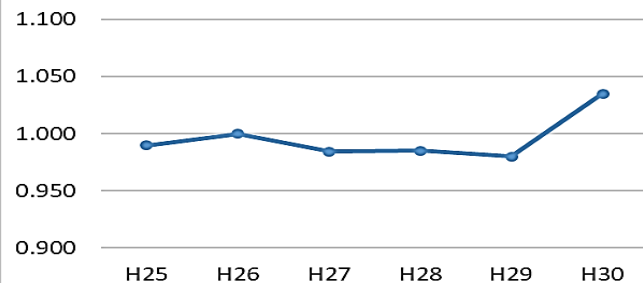


# 【小学校算数 B区分】 【主に「活用」に関する問題】

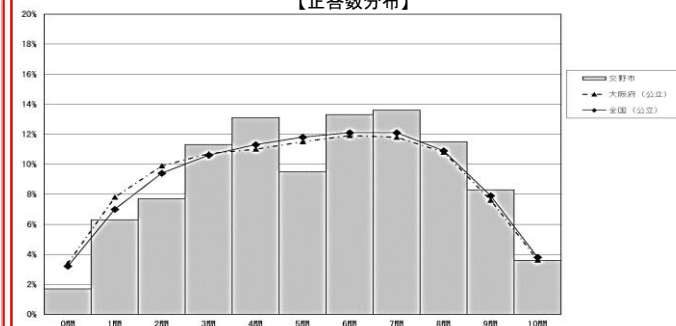
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

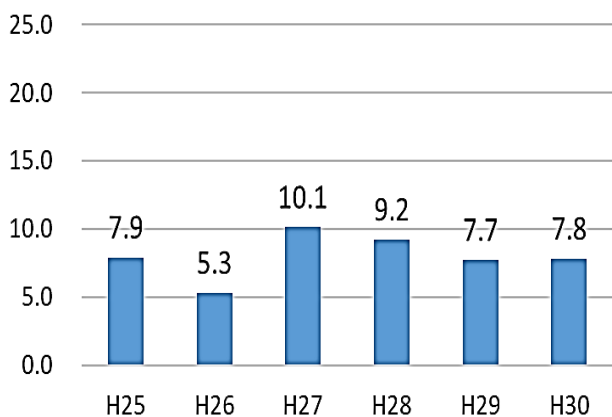


【正答数分布】

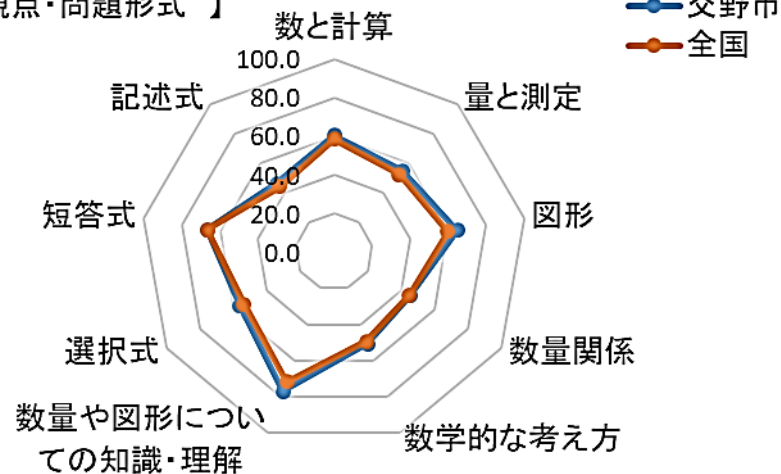


- 平均正答率は全国値を1.8ポイント上回り、対全国比も昨年度値を上回っている。
- 正答数分布の様子は全国の状況とおおむね同傾向で、全国・交野市とも7問を頂点とした山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



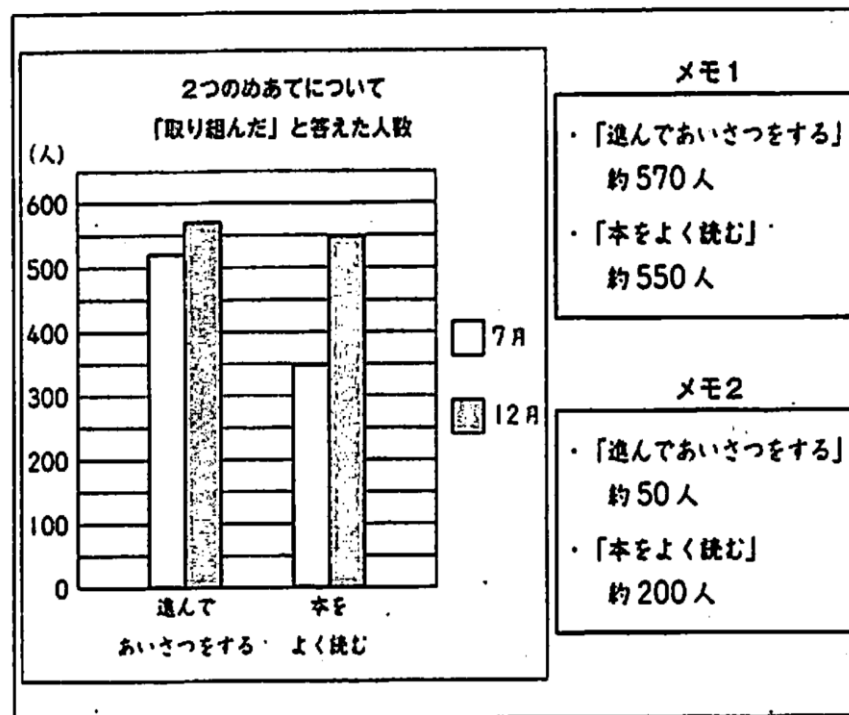
- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にあり、すべてにおいて全国値を上回っている。

# 【小学校算数 B区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題3（1）】

メモ1とメモ2は、それぞれグラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く。



メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多い。メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多い。

## ■出題の趣旨

メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。

## ■正答率・無解答率

正答率 17.2%

(全国：20.7%)

無解答率20.1%

(全国：18.0%)

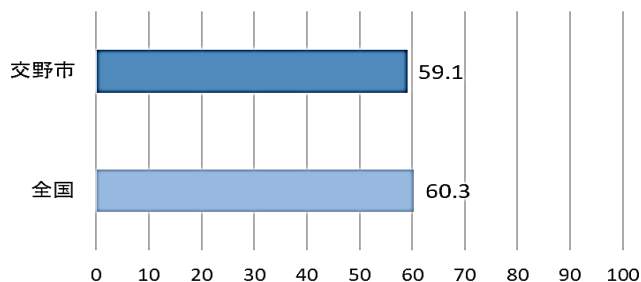
メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多いのに、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのはなぜか？



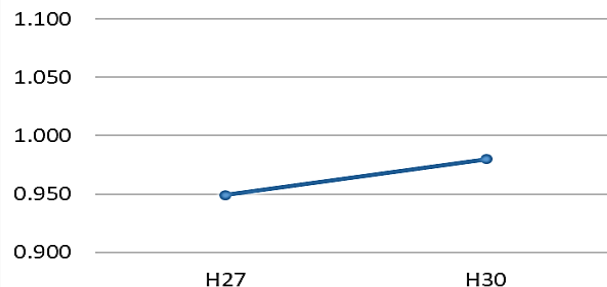
# 【小学校理科】

【主に「活用」に関する問題】

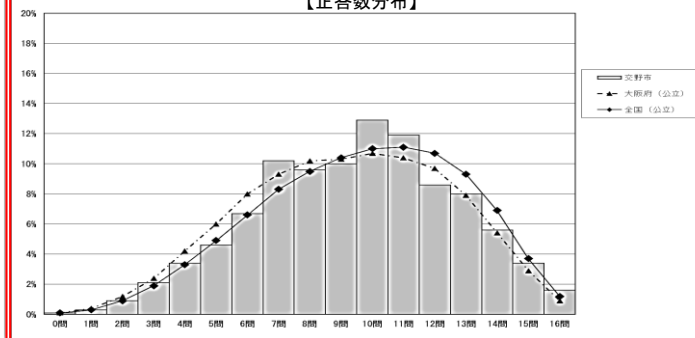
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

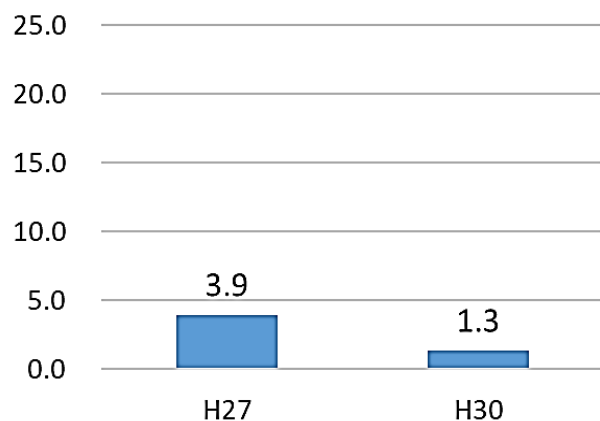


【正答数分布】



- 平均正答率は全国値を1.2ポイント下回っているものの、対全国比は27年度値を上回っている。
- 正答数分布の様子は全国の状況とおおむね同傾向で、全国は11問、交野市は10問を頂点としたやや右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況では、「自然事象についての知識・理解」「短答式」において全国値から下回っているものの、「観察・実験の技能」「記述式」で全国値を上回っている。

## 【小学校理科】

## ■課題の見られる問題■

## 【問題4（3）】

食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ。

## ■出題の趣旨

物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できるかどうかをみる。

## ■正答率・無解答率

正答率 39.7%

（全国：42.7%）

無解答率 1.1%

（全国： 1.3%）

ゆかりさんたちは、魚を水そうで飼育しようとしたところ、水そうに入れる海水が足りないで、海水と同じこさの食塩水をつくることにしました。



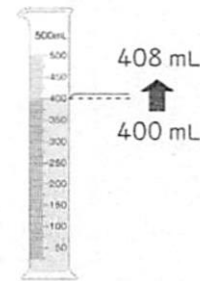
調べてみたら、海水 400 mL には 12g の食塩がとけて  
いるそうだよ。

ゆかりさんは、400 mL の水を用意して、12g の食塩をとかすことに  
しました。



あれ？ 400 mL の水に食塩を 12g とかしたら、できた  
食塩水は 400 mL より多くなるのではないかな？

そこで、できた食塩水の量を  
メスシリンダーではかってみると、  
408 mL になっていました。



海水408mlに12g  
の食塩が溶けているこ  
とになって、海水と同  
じ濃さになっていない。

400mlよりも量が増えたということは、  
重さはどうなるのか。  
（水400mlの重さは  
400gである）

○このときにできた食塩水の重さはどうなっていますか。  
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 400gになる。
- 2 408gになる。
- 3 412gになる。
- 4 420gになる。

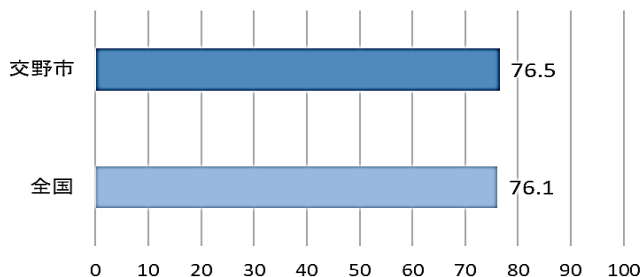




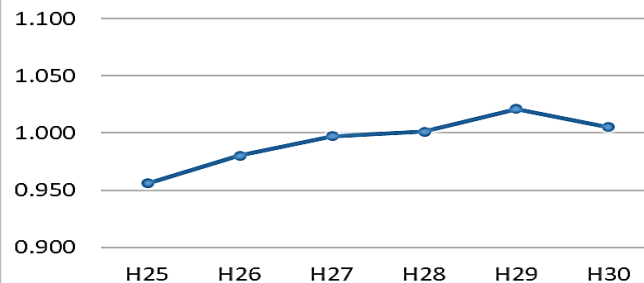
## 【中学校国語 A区分】

【主に「知識」に関する問題】

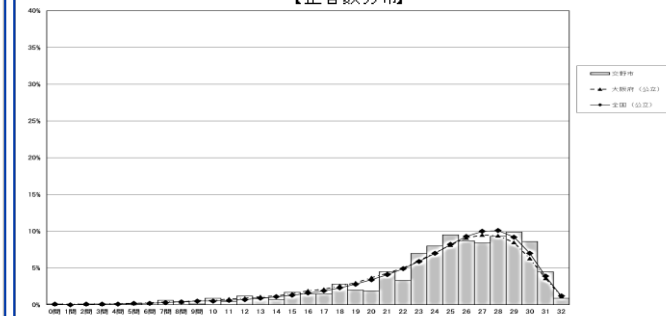
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

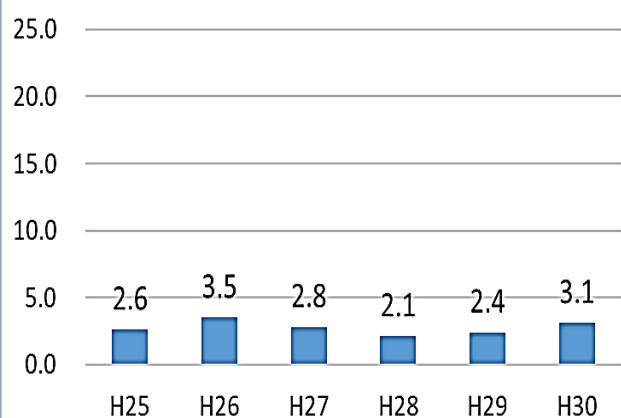


【正答数分布】



- 平均正答率は全国を0.4ポイント上回っているものの、対全国比は昨年度値を下回っている。
- 正答数分布の様子は、全国の場合より分散傾向にある。全国は28問、交野市は29問を頂点とした右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にあり、すべてにおいて全国値を上回っている。

# 【中学校国語 A区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題8四1・2】

- 1 「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する。
- 2 上記慣用句を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなことに」に「心を打たれた」のか分かるように書く。

### ■出題の趣旨

- 1 慣用句の意味を理解する。
- 2 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。

### ■正答率・無解答率

- 1 正答率 95.8% (全国：94.7%)  
無解答率 0.1% (全国：0.8%)
- 2 正答率 23.7% (全国：22.3%)  
無解答率 6.6% (全国：6.5%)

2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。  
なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、  
「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のか分かるように書くこと。

23.7%

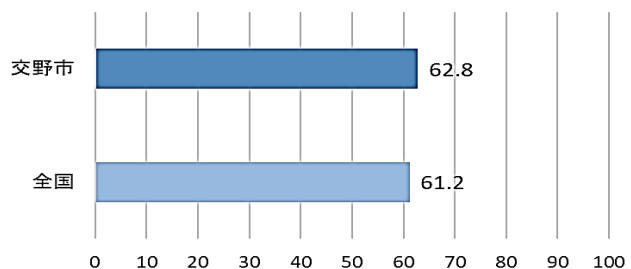
- 四 次の各問いに答えなさい
  - 1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。
- 心を打たれる
- 1 遠慮する。
  - 2 感動する。
  - 3 一つのこと集中する。
  - 4 あれこれと心配する。

95.8%

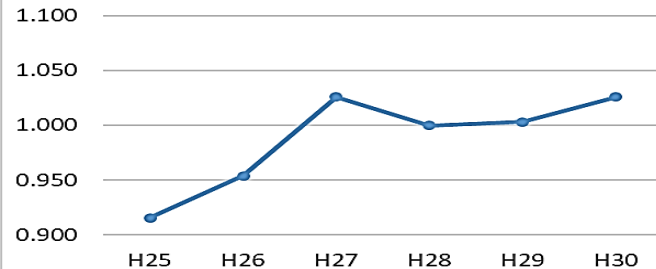


# 【中学校国語 B区分】【主に「活用」に関する問題】

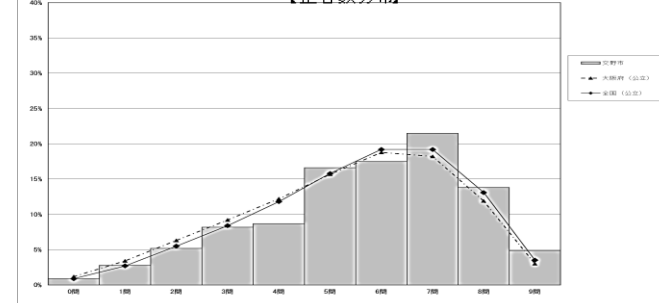
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

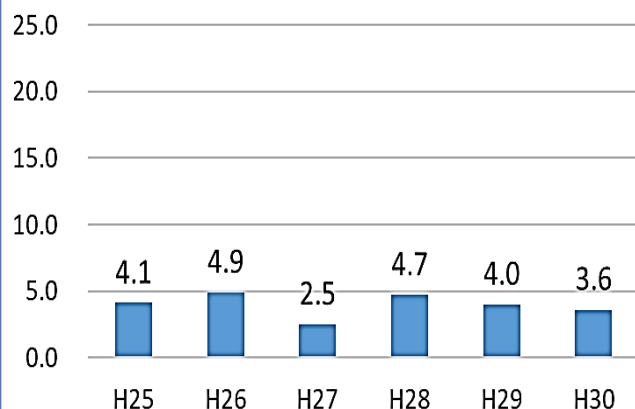


【正答数分布】

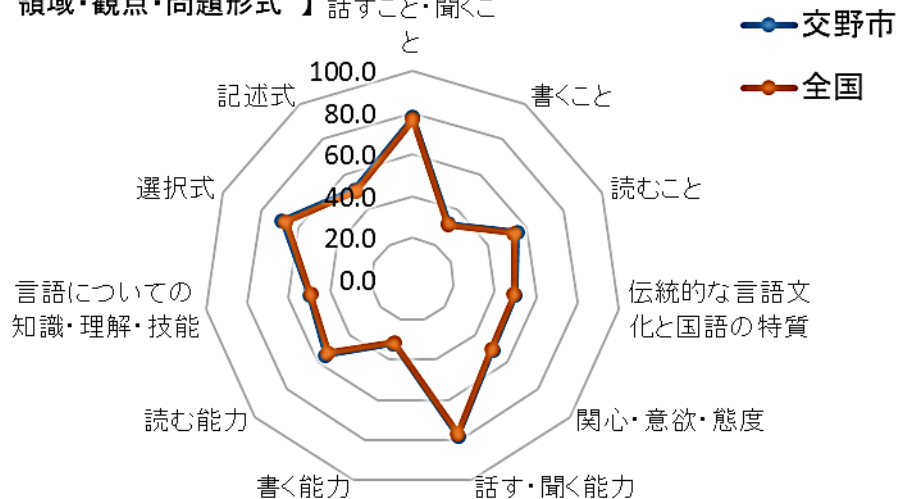


- 平均正答率は全国平均値を1.6ポイント上回り、対全国比も昨年度の値を上回っている。
- 正答数分布の様子は全国と同傾向で、全国・交野市とも7問を頂点としたやや右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にあり、すべてにおいて全国値を上回っている。

# 【中学校国語 B区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題1三】

「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く。

### ■出題の趣旨

目的に応じて文書を読み、内容を整理して書く。

### ■正答率・無解答率

正答率 13.8%  
(全国：13.3%)  
無解答率 9.6%  
(全国：7.0%)

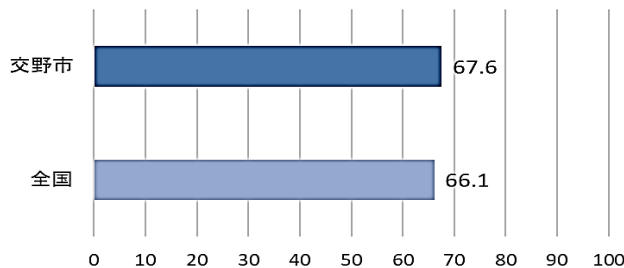
## ■正答の条件

- ① 次の a・b のうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
- a 「してはならないこと」という意味を表す際に、現在は「無用」以外の表現を用いるようになっている。
- b 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方が あること自体が、分かりにくくなっている。
- ② 次の a・b のうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
- a 「天地無用」には、「逆にする」に当たる内容が省略されている。
- b 「逆にすること」が省略されていることに気付かないと、「天地無用」の「無用」の意味を、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。

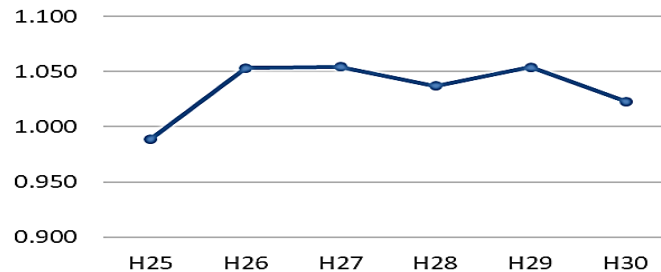
# 【中学校数学 A区分】

【主に「知識」に関する問題】

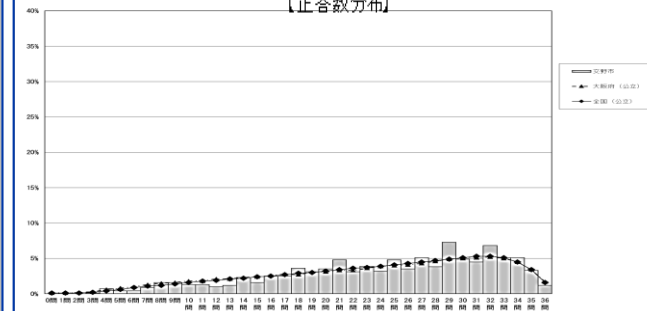
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

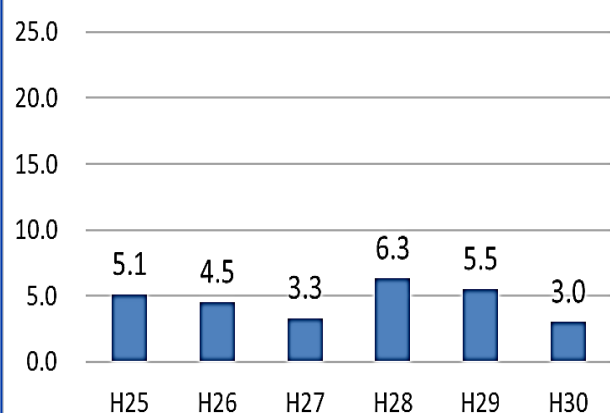


【正答数分布】

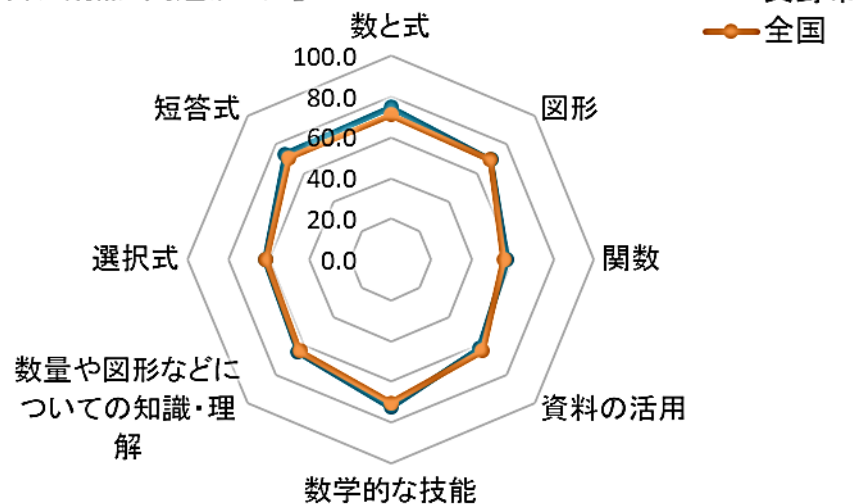


- 平均正答率は全国を1.5ポイント上回っているものの、対全国比は昨年度値を下回っている。
- 正答数分布の様子は全国状況より分散傾向にあり、全国は31問、交野市は29問を頂点とした、全体的になだらかな右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年変化 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は、全国と同傾向にある。
- 「資料の活用」を除くすべての項目において全国値を上回っている。

【中学校数学 A区分】

■課題の見られる問題■

【問題12】

歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ。

■出題の趣旨

一次関数の意味を理解している。

■正答率・無解答率

正答率 37.6% (全国：36.4%)

無解答率 0.3% (全国： 1.0%)

○ 1500mの道のりを歩きます。 $X$ m歩いたときの残りの道のりを $Y$ mとします。このとき、 $X$ と $Y$ の関係について、下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア  $Y$ は $X$ に比例する。

イ  $Y$ は $X$ に反比例する。

ウ  $Y$ は $X$ の一次関数である。

エ  $X$ と $Y$ の関係は、比例、反比例、一次関数のいずれでもない。

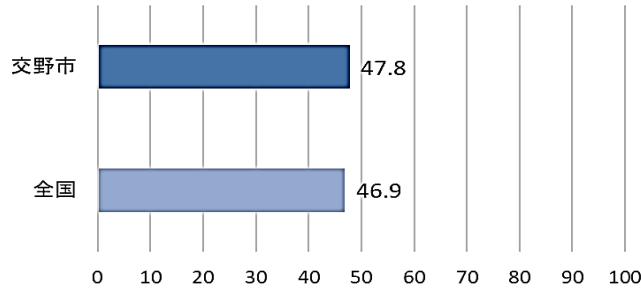




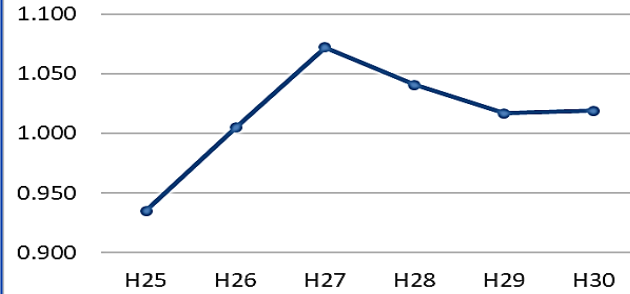
# 【中学校数学 B区分】

【主に「活用」に関する問題】

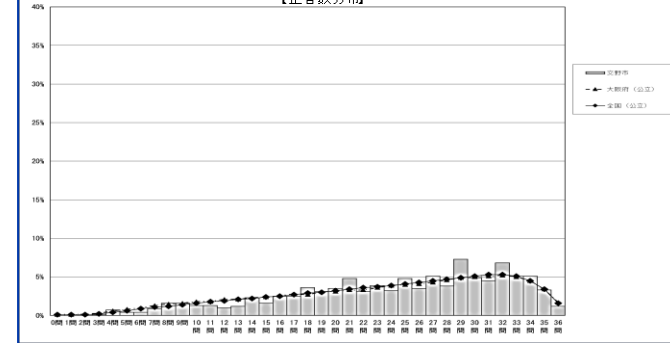
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

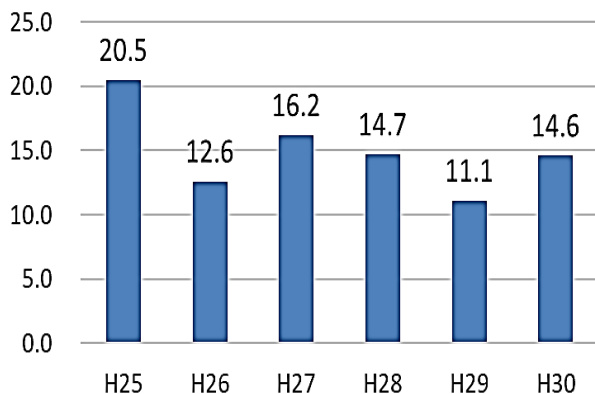


【正答数分布】

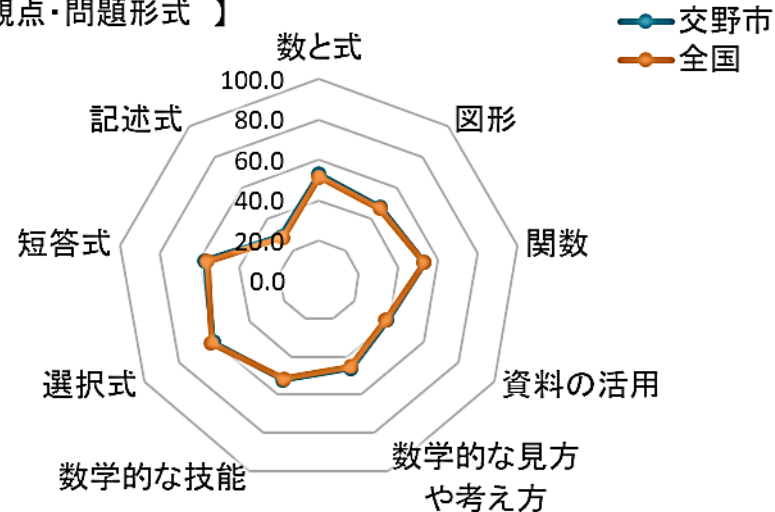


- 平均正答率は全国値0.9ポイント上回り、下降傾向にあった対全国比も昨年度値を上回っている。
- 正答数分布の様子は、全国の状況より分散傾向にある。全国は32問、交野市は29問を頂点とした緩やかな右よりの山型を描いている。

【 無解答率 経年変化 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にある。
- 「関数」「選択式」を除くすべての項目において全国値を上回っている。

## 【中学校数学 B区分】

■課題の見られる問題■

## 【問題5（2）】

S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く。

## ■出題の趣旨

与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。

## ■正答率・無解答率

正答率 15.3%（全国：16.0%）

無解答率 29.2%（全国：24.1%）

- 5 里奈さんは、バスツアーを利用して旅行することにしました。そこで、S社とT社のパンフレットから、次のような表にまとめました。

里奈さんが作った表

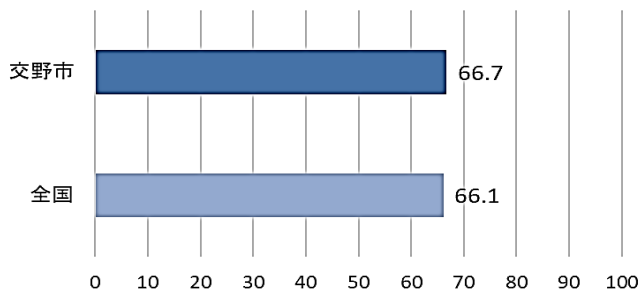
|             | S社       | T社         |
|-------------|----------|------------|
| プラン名        | 史跡巡りプラン  | 史跡巡りプラン    |
| 通常料金        | 1人 3500円 | 1人 3200円   |
| 団体料金        | 1人 2940円 | 通常料金の10%引き |
| 団体料金の利用可能人数 | 8人以上     | 10人以上      |

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

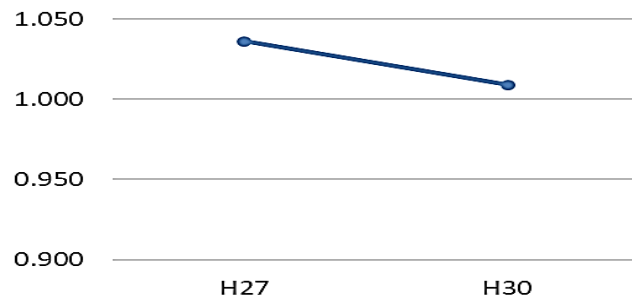
- (1) 里奈さんが作った表から、S社の場合、団体料金は通常料金の560円引きであることがわかります。この560円は通常料金の何%にあたるかを求める式を書きなさい。ただし、実際に何%にあたるかを求める必要はありません。



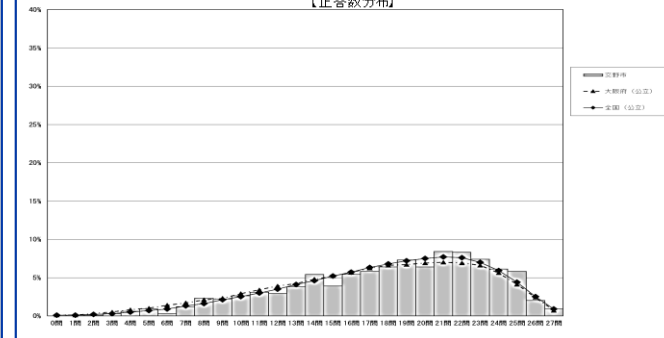
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

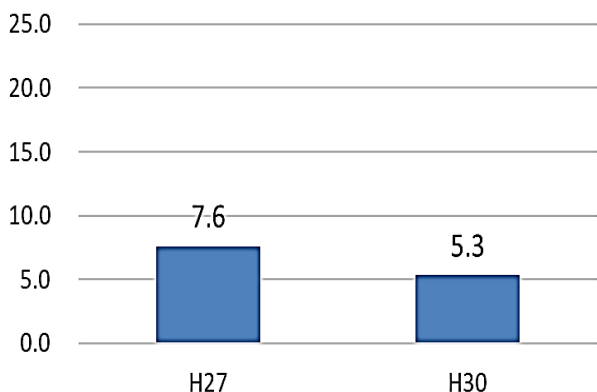


【正答数分布】

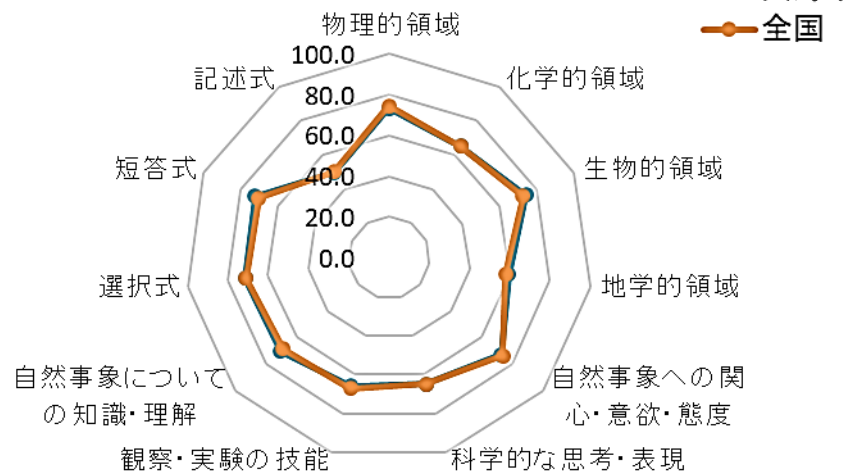


- 平均正答率は全国値を0.6ポイント上回ったものの、対全国比は27年度値を下回っている。
- 正答数分布の様子は全国の場合とほぼ同傾向で、全国・交野市ともに21問を頂点としたやや右寄りの山型を描いている。

【 無解答率 経年変化 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 領域・観点問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- 「生物学的領域」「地学的領域」「自然事象についての知識・理解」「選択式」「短答式」で全国値を上回っている。

## 【中学校理科】

## ■課題の見られる問題■

## 【問題9】

部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる。

## ■出題の趣旨

蒸発と湿度に関する知識と、問題解決の知識・技能を活用して、植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することができる。

## ■正答率・無解答率

正答率 17.9% (全国：19.4%)

無解答率 22.0% (全国：21.4%)

下線部以外の原因を考える。

(鉢の中の土から蒸発する水に着目)

- 9 健一さんは、乾燥した部屋に鉢植えの植物を置くと湿度が上がって、インフルエンザの予防に効果があると知り、科学的に探究して実験ノートにまとめました。

(1)と(2)の各問いに答えなさい。

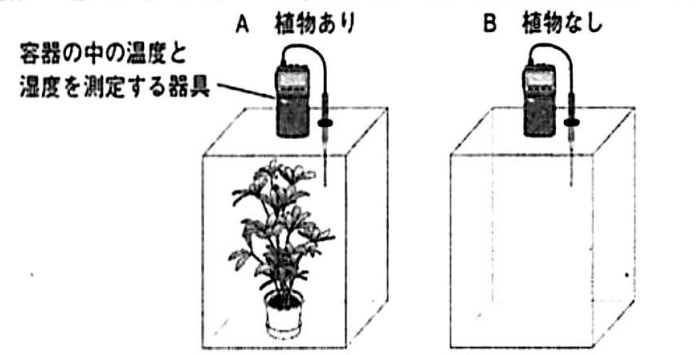
## 実験ノートの一部

2月11日(日) 天気 曇り 気温 22℃

## 課題

密閉した透明な容器の中に鉢植えの植物を置くと、湿度は上がるのだろうか。

## 【実験】



## 【結果】

AとBの容器の中の温度は22℃で変わらなかった。

| 時間(時間)    |        | 0  | 1  | 2  | 3  | 4  |
|-----------|--------|----|----|----|----|----|
| 湿度<br>(%) | A 植物あり | 37 | 67 | 87 | 88 | 88 |
|           | B 植物なし | 38 | 39 | 39 | 38 | 38 |

## 【考察】

実験の結果から、鉢植えの植物を入れた容器の中の湿度は上がるといえる。

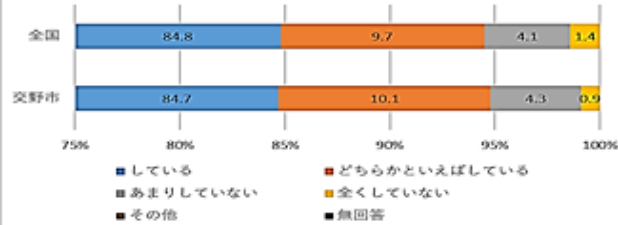
## 【新たな疑問】

水蒸気が植物から出るだけで、湿度が37%から88%に上がるのだろうか。

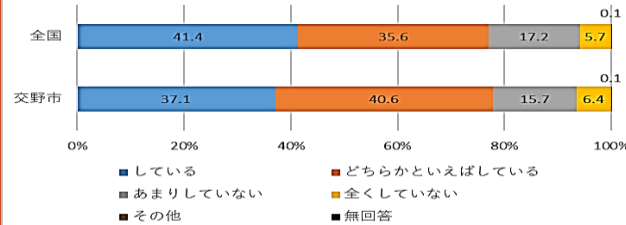
# 【生活習慣・学習習慣】

(児童・生徒アンケートの結果概要)

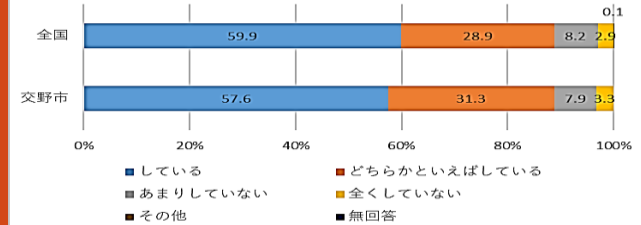
【小】朝食を毎日食べている



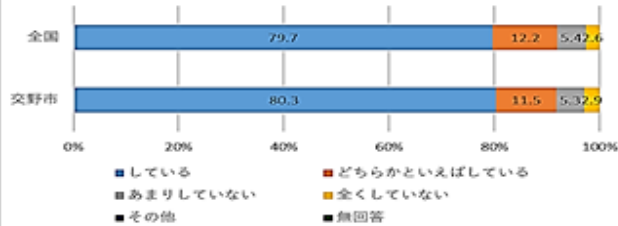
【小】毎日同じくらいの時刻に寝ている



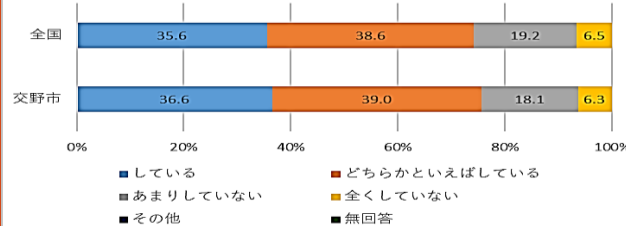
【小】毎日同じくらいの時刻に起きている



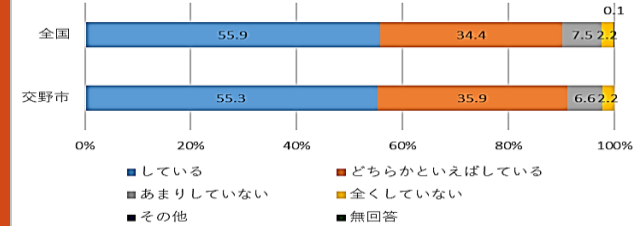
【中】朝食を毎日食べている



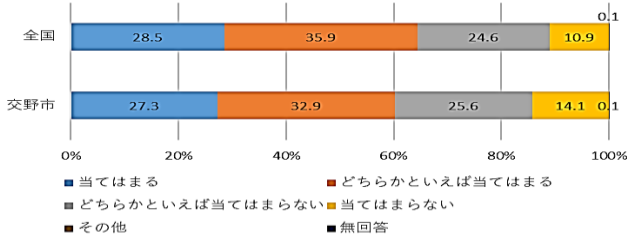
【中】毎日同じくらいの時刻に寝ている



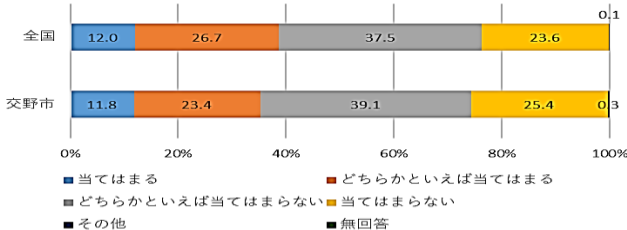
【中】毎日同じくらいの時刻に起きている



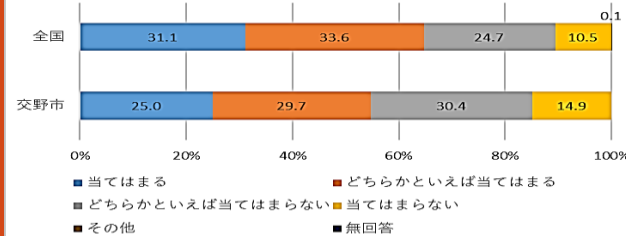
【小】算数の学習内容を普段の生活で活用できないか考える



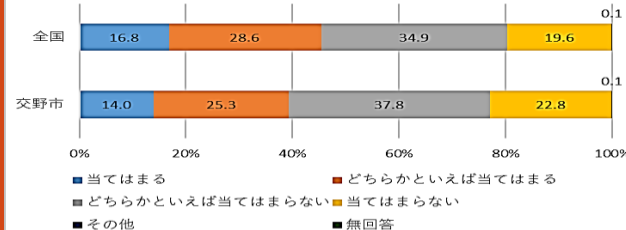
【中】数学の学習内容を普段の生活で活用できないか考える



【小】理科の学習内容を普段の生活で活用できないか考える



【中】理科の学習内容を普段の生活で活用できないか考える



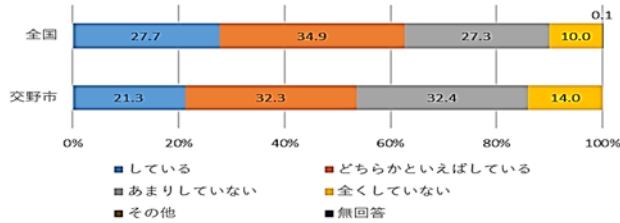
- ◆「朝食を毎日食べている」の項目における肯定的回答の割合は、小・中学校ともに全国値と同水準であった。
- ◆「毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている」の項目における肯定的回答の割合は、小・中学校ともに全国値を上回っている。
- ◆「学習内容を普段の生活で活用できないか考える」における肯定的回答の割合は、算数・数学においては小・中学校ともに全国値を下回り、理科においても同様の傾向がみられた。



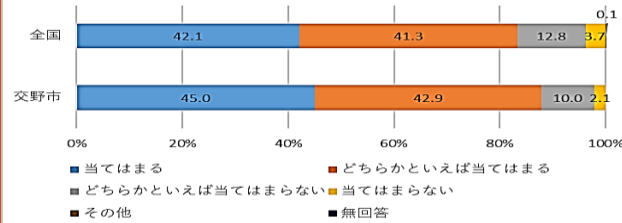
## 【確かな学び】

(児童・生徒アンケートの結果概要)

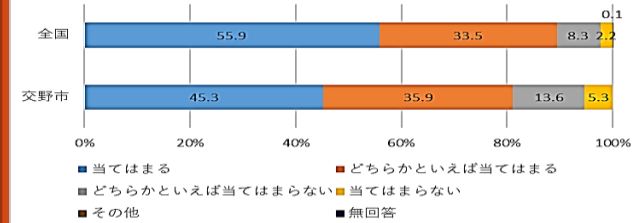
【小】家で学校の予習・復習をしている



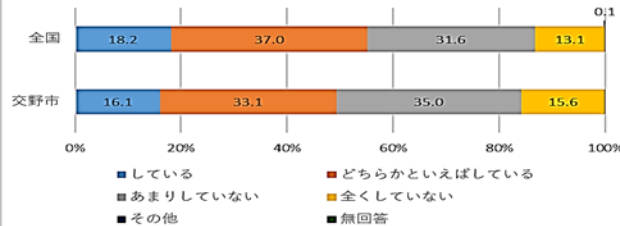
【小】算数の授業の内容はよく分かる



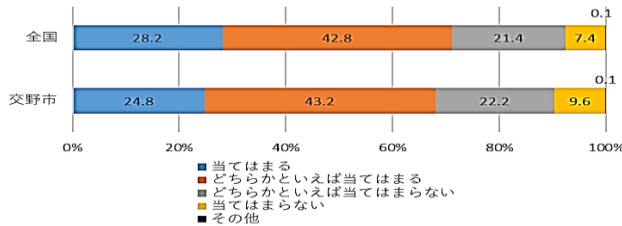
【小】理科の授業の内容はよく分かる



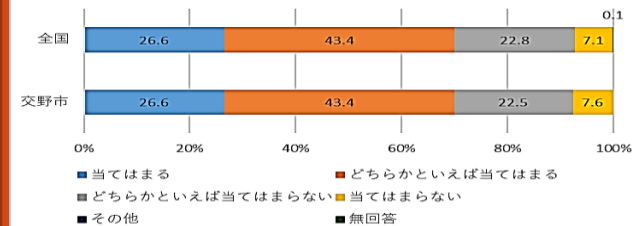
【中】家で学校の予習・復習をしている



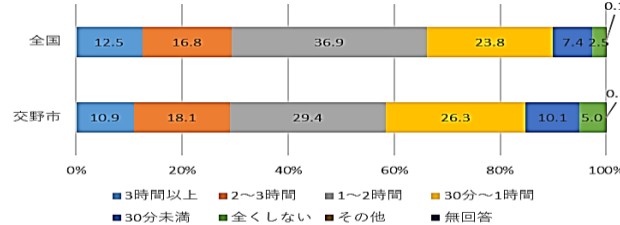
【中】数学の授業の内容はよく分かる



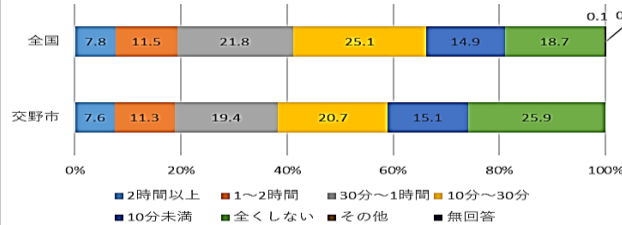
【中】理科の授業の内容はよく分かる



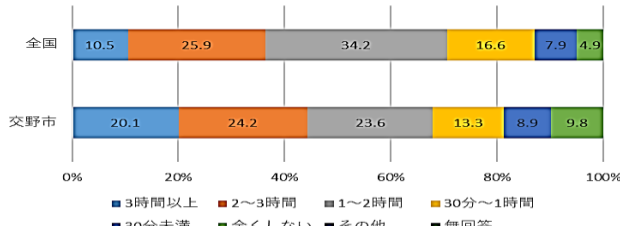
【小】学校の授業時間以外（月～金）の1日当たりの勉強時間



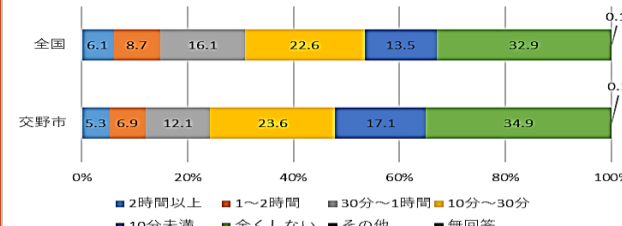
【小】学校の授業時間以外（月～金）の1日当たりの読書時間



【中】学校の授業時間以外（月～金）の1日当たりの勉強時間



【中】学校の授業時間以外（月～金）の1日当たりの読書時間

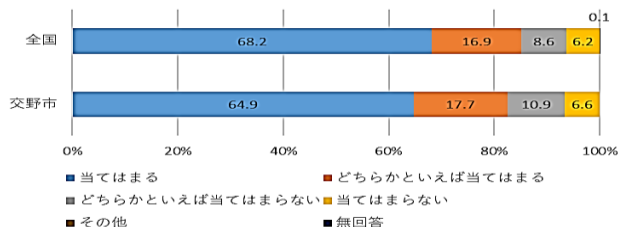


- ◆「算数（数学）・理科の授業の内容はよく分かる」の項目における肯定的回答の割合は、小学校の理科、中学校の数学において全国値を下回っている。
- ◆「家で学校の授業の予習・復習をしている」の項目において、肯定的回答の割合は小・中学校ともに全国値を下回り、「全くしていない」と回答した割合においても全国値を上回っている。
- ◆「1日あたりに勉強する時間が30分未満」と回答した割合は、小・中学校ともに全国値を上回っている。
- ◆「一日に読書を全くしない」と回答した割合は、小・中学校ともに全国値を上回っている。

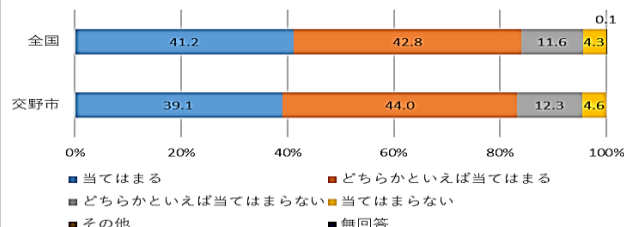


# 【豊かな人間性と夢】 (児童・生徒アンケートの結果概要)

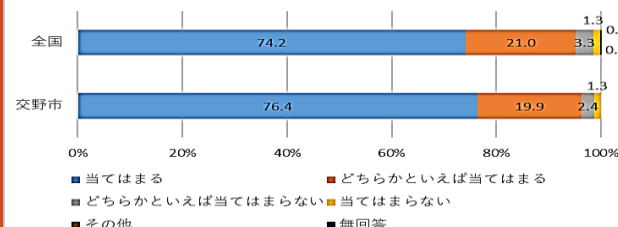
【小】 将来の夢や目標を持っている



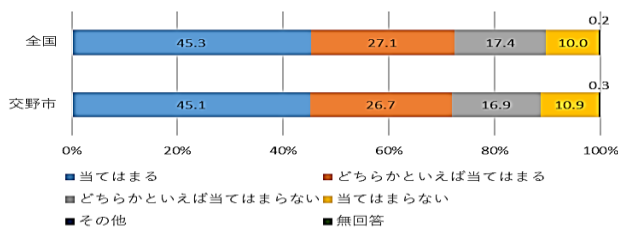
【小】 自分にはよいところがある



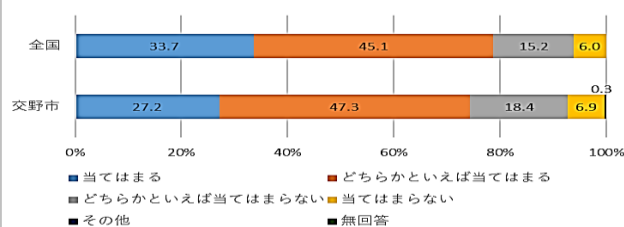
【小】 人の役に立つ人間になりたい



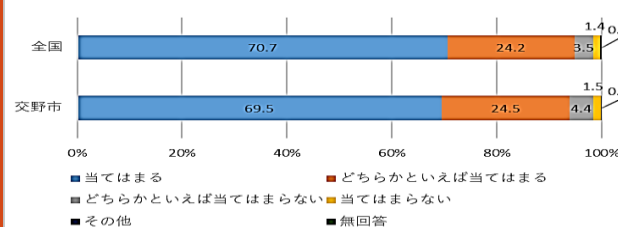
【中】 将来の夢や目標を持っている



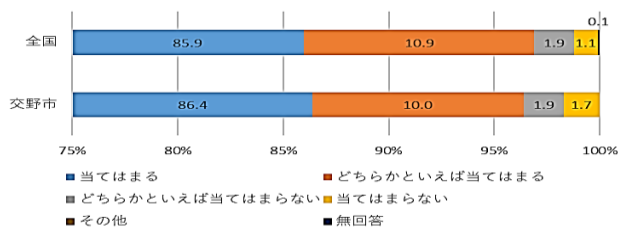
【中】 自分にはよいところがある



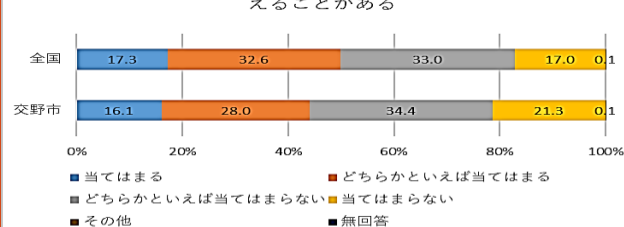
【中】 人の役に立つ人間になりたい



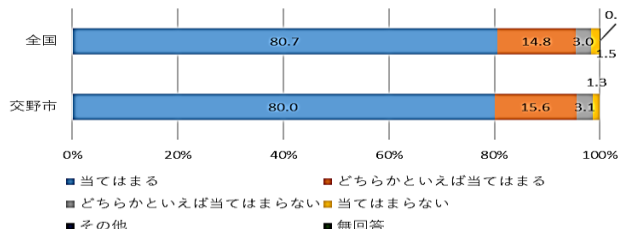
【小】 いじめはどんな理由があってもいけないことだ



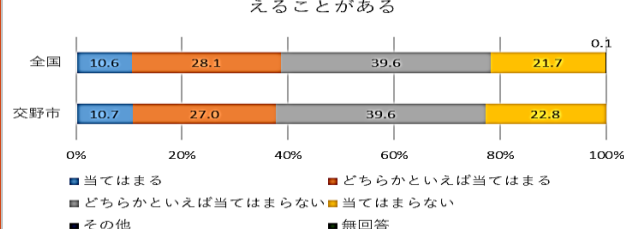
【小】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる



【中】 いじめはどんな理由があってもいけないことだ



【中】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる



- ◆「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」の両項目における肯定的回答の割合は、小・中学校ともに全国値を下回っている。
- ◆「人の役に立つ人間になりたい」の項目における肯定的回答の割合は、小学校では全国値を上回っているものの、中学校は下回っている。
- ◆「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合は、小学校では全国値を下回っており、中学校では全国値を上回っている。



# 【平成30年度全国学力・学習状況調査 まとめ】

## ■教科に関する調査より

◇平均正答率について、全国平均値と比較すると、

- ・小学校では、国語A・B、理科で全国平均値を下回ったが、算数A・Bにおいては全国平均値を上回る結果となった。
- ・中学校では、29年度と同様に、すべての教科・区分において、全国平均値を上回る結果となった。

◇無解答率について、全国平均値と比較すると、

- ・小学校では、平均正答率と同様に、国語A・B、理科で全国平均値より低水準であったが、算数A・Bにおいては全国平均値より高水準の結果となった。
- ・中学校では、数学A以外の教科・区分において全国平均値より低水準となり、課題が見られる結果となった。

## ■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査より

- ・各学校において授業改善は進んでおり、「授業づくり」に関する項目では、肯定的な回答が増加した。しかしながら、児童・生徒が実感する「分かる授業」については、教員と児童・生徒との間に相違が見られ、授業の更なる質的向上が今後の課題といえる。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」との項目で肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、課題が見られる結果となった。

◆交野市教育委員会として、『交野市学校教育ビジョン』に掲げている4つの施策の柱「情（こころ）の教育を育む学校」「確かな学びが実感できる学校」「組織力の向上と開かれた学校」「学校・家庭・地域の連携と安全な学校」をめざし、以下の取組みを推進します。

- ① **授業改善の推進**…市の事業である「小・中学校学力充実支援事業」における学力先進地域（福井県永平寺町）視察等から得た成果の普及に努め、教員の指導力の向上を支援します。同時に、「すべての子どもが分かる・できる授業」をめざした授業改善を推進する上で、次期学習指導要領の基本理念である「主体的・対話的で深い学び」を追求した授業づくりについて、指導主事等の学校訪問を通じて学校に支援します。
- ② **小中一貫教育の推進**…ア. 子どもの学びと育ちをつなぐ小中一貫教育の取組みを推進する上で、9年間を意識した小・中学校の交流や小学校間の交流を支援し、自己有用感や自尊感情を高めます。  
イ. 小・中学校9年間を意識した各教科におけるカリキュラム作成を支援し、児童・生徒の学びのつながりを意識した学習内容の強化を図ります。  
ウ. プログラミング教育の推進をはじめ、外国語教育の充実及び言語活用力の向上を意識した取組みを通じ、子ども同士が協同しながら学習できる体制を整えるなど、次期学習指導要領の「学びに向かう力」の育成のため、学習活動の更なる充実を図ります。
- ③ **学校・家庭・地域の連携**…各学園で共有している「家庭学習の手引き」を活用しての家庭学習の状況改善や、地域の方々や施設の協力を得た学習活動の推進を図り、子どもが自ら進んで学ぶ態度を醸成します。また、「学園（中学校区）プラン」の作成を支援し、学校・保護者・地域が共通の目標を持って子どもたちの育成ができるような環境整備を推進します。
- ④ **読書推進活動の定着**…学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能するよう、授業での学校図書館活用を積極的に推進します。また、学びあいサポーターや図書館アドバイザーの派遣等を通じて、子どもの読書習慣の定着と言語活用力の向上をめざします。